

## 律法と預言者の書そして諸書

▶イエスは言われた。「わたしについてモーセの律法と預言者の書と詩編に書いてある事柄は、必ずすべて実現する。これこそ、まだと一緒にいたころ、言っておいたことである」(ルカによる福音書 24:44)。  
→神の品性の反映である律法を人間は守ることが出来なかった。

▶律法と預言者の書が朗読された後、会堂長たちが人をよこして、「兄弟たち、何か会衆のために励ましのお言葉があれば、話してください」と言わせた(使徒言行録 13:15)。

▶ユダヤ教聖書(=ヘブライ語聖書、タナハ)は、①律法、②預言者、③諸書の三部構成です。  
→ユダヤ教の聖書は旧約聖書のみで、新約聖書は認めていない。  
旧約聖書はイエス・キリストの贖いによる神の新しい契約を予告し、教え、知らせるものです。

### ▶律法と預言者(の書)そして諸書

律法(トーラーTorah) = モーセ五書(ペンタテューク Pentateuch) : 創世記、出エジプト記、レビ記、民数記、申命記

#### 預言者(ネビーム)

- ・前預言者 : 古代イスラエル史の流れ  
ヨシュア記、士師記、サムエル記(上、下)、列王記(上、下)
- ・後預言者 : 一般的に考えられる預言者の書  
イザヤ書、エレミヤ書、エゼキエル書→エレミヤ=涙の預言者
- ・十二預言書 : ホセア書、ヨエル書、アモス書、オバデヤ書、ヨナ書、ミカ書、ナホム書、ハバクク書、ゼファニヤ書、ハガイ書、ゼカリヤ書、マラキ書

#### 諸書(カトビーム)

- ・真理(エメト) : ①ヨブ記、②詩編(テヒリーム)、③箴言、
- ・巻物(祭儀の巻物、メギロース/メギロート)
  - ①ルツ記 : 5月中～下旬
  - ②コヘレトの言葉 : 10月初～中旬→コヘレト=集会を司る人
  - ③雅歌 : 4月初～中旬
  - ④哀歌 : 7月中～下旬
  - ⑤エステル記
- ・その他(その他の巻物) ①歴代誌(上、下)※1、②エズラ・ネヘミヤ記※2、③ダニエル書  
※1、2 : ユダヤ教では一巻の書である。

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数 : 5 / 聖句等の総数 33250 <律法と預言者>5個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙 : 律法と預言者]
S マタイによる福音書	7:12 だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。これこそ律法と預言者である。」	
S ルカによる福音書	16:16 律法と預言者は、ヨハネの時までである。それ以来、神の国の福音が告げ知らされ、だれもが力づくでそこに入ろうとしている。	
S ルカによる福音書	24:44 イエスは言われた。「わたしについてモーセの律法と預言者の書と詩編に書いてある事柄は、必ずすべて実現する。これこそ、まだあなたがたと一緒にいたころ、言っておいたことである。」	
S 使徒言行録	13:15 律法と預言者の書が朗読された後、会堂長たちが人をよこして、「兄弟たち、何か会衆のために励ましのお言葉があれば、話してください」と言わせた。	
S ローマの信徒への手紙	3:21 ところが今や、律法とは関係なく、しかも律法と預言者によって立証されて、神の義が示されました。	

## 【参考】 外典、偽典

### 1. 外典 (がいてん=アポクリファ Apocrypha)

聖書におさめる主張もあったが、正典から除外された文書群のことを指している。

#### 旧約外典一覧

第三エズラ書  
第四エズラ書  
トビト記  
ユディト記  
エステル記補遺  
ソロモンの知恵 (知恵の書)  
シラ書 (集会の書、ベン・シラの知恵)  
バルク書  
エレミヤの手紙  
ダニエル書補遺  
スザンナ  
ベルと竜  
アザルヤの祈りと三人の若者の賛歌  
マナセの祈り  
マカバイ記 1  
マカバイ記 2  
マカバイ記 3  
マカバイ記 4  
詩篇 151  
ヨブ記補遺  
エノク書

#### 新約外典一覧

パウロ行伝  
ペトロ行伝  
パウロ・テクラ行伝  
ペトロの黙示録  
パウロの黙示録  
ディダケー (十二使徒の教え)  
バルナバの手紙 (バルナバ書)  
クレメントのコリントの信徒への手紙  
イエス・キリストとエデッサ王アブガルスの手紙  
使徒パウロのラオディキアの信徒とセネカへの手紙  
イグナティオスとポリカルポスの手紙  
エジプト人による福音  
ユダヤ人による福音  
ユダによる福音書  
ニコデモによる福音書 (ピラト行伝)  
ペトロによる福音書 (ペテロ福音書)  
救い主による福音  
ヤコブによる原福音 (ヤコブ原福音)  
トマスによるイエスの幼時物語  
トマスによる福音書  
マタイによるイエスの幼時福音  
マルコによるイエスの幼時福音  
アラビア語によるイエスの幼時福音  
マリアによる福音書 (マグダラのマリア福音書)  
フィリポによる福音書  
ヘルマスの牧者  
イエス・キリストの叡智  
シビュラの託宣

### 2. 偽典 (ぎてん、Pseudepigrapha)

旧約聖書の正典・外典に含まれないユダヤ教・キリスト教の文書である。旧約偽典とも呼ばれる。偽典に分類される書物は旧約聖書 (ユダヤ教) 文書のみで、新約聖書に相当するものはない。

## 【参考】 涙の預言者エレミヤ

・わたしの頭が大水の源となり／わたしの目が涙の源となればよいのに。そうすれば、昼も夜もわたしは泣こう／娘なるわが民の倒れた者のために (エレミヤ書 8 : 23)。

・あなたたちが聞かなければ／わたしの魂は隠れた所でその傲慢に泣く。涙が溢れ、わたしの目は涙を流す。主の群れが捕らえられて行くからだ (同 13 : 17)。

・あなたは彼らにこの言葉を語りなさい。「わたしの目は夜も昼も涙を流し／とどまることがない。娘なるわが民は破滅し／その傷はあまりにも重い (同 14 : 17)。